

平成16年9月度 需要実績

1. 需要概況

9月度の販売電力量は、一般需要、大口電力需要ともに増加したことから、75億1600万kWhとなり、前年に対し1.5%増と9か月連続で前年を上回った。

(1) 一般需要(販売電力量合計から大口電力を除いたもの)

検針期間が長かったことや、電灯や業務用電力の需要数の増加などから、前年に対し1.6%増と、9か月連続で前年を上回った。

(2) 大口電力需要

窯業土石などは減少したものの、電気機械や輸送用機械などが増加したことから、前年に対し0.9%増と9か月連続で前年を上回った。

2. 用途別実績

(千kWh,%)

		実績	前年比	年度累計 前年比
特定規模 需要以外 の需要	電 灯 計	2,520,026	101.2	106.1
	電 業務用	1,369,199	(103.8)	(105.7)
	小 口	1,203,641	(96.9)	(103.0)
	そ の 他	85,899	(101.2)	(99.1)
	小 計	2,658,739	(100.5)	(104.1)
	電 灯電力計	5,178,765	(100.9)	(105.1)
特定規模需要		2,337,386	(102.8)	(105.8)
販売電力量合計		7,516,151	101.5	105.3
再 掲	(一般需要)	5,742,523	101.6	106.0
	(大口電力)	1,773,628	100.9	103.5

(注) ()内は同じ区分での前年実績値が無いため、参考値

3. 大口電力産業別実績

(千kWh,%)

		実績	前年比	年度累計 前年比
機 械	電 気	493,820	108.1	108.7
	輸送用	104,603	113.6	115.2
	その他	38,072	111.0	109.1
	計	636,495	109.1	109.7
	鉄 鋼	182,392	90.0	95.9
化 学	142,322	101.2	106.0	
窯業土石	68,901	76.6	82.3	
(セメント)	43,993	75.0	79.5	
食 料 品	145,035	97.5	100.7	
パルプ・紙	32,199	95.0	96.7	
非鉄金属	78,055	111.1	112.0	
織 維	17,459	95.0	91.2	
その他	470,770	100.1	104.0	
合 計	1,773,628	100.9	103.5	

(参考) 電力各社別需要実績速報(16年9月)

(百万kWh,%)

			北海道	東 北	東 京	中 部	北 陸	関 西	中 国	四 国	九 州	合 計
実 績	特定規模 需要以外 の需要	電 灯	865	1,767	8,116	2,989	557	4,090	1,506	834	2,520	23,244
		電 力	899	2,113	7,587	3,496	709	4,056	1,537	819	2,659	23,875
		合 計	1,764	3,880	15,704	6,485	1,266	8,146	3,043	1,653	5,179	47,120
	特定規模需要		714	2,470	10,366	5,050	1,013	5,162	2,169	781	2,337	30,062
	販売電力量計		2,478	6,350	26,070	11,535	2,279	13,308	5,212	2,434	7,516	77,182
	(大口電力)		479	2,076	7,448	4,357	864	3,828	1,849	618	1,774	23,293
前 年 比	特定規模 需要以外 の需要	電 灯	104.6	104.7	110.1	103.2	101.1	94.1	101.2	100.3	101.2	103.4
		電 力	(102.5)	(103.8)	(103.7)	(100.0)	(100.1)	(97.7)	(101.1)	(98.1)	(100.5)	(101.2)
		合 計	(103.5)	(104.2)	(106.9)	(101.4)	(100.5)	(95.8)	(101.1)	(99.2)	(100.9)	(102.3)
	特定規模需要		(105.5)	(103.7)	(102.3)	(103.5)	(107.9)	(101.9)	(103.2)	(104.8)	(102.8)	(103.0)
	販売電力量計		104.1	104.0	105.0	102.3	103.7	98.1	102.0	100.9	101.5	102.5
	(大口電力)		101.7	102.9	102.8	102.9	106.7	102.8	102.7	105.0	100.9	102.9

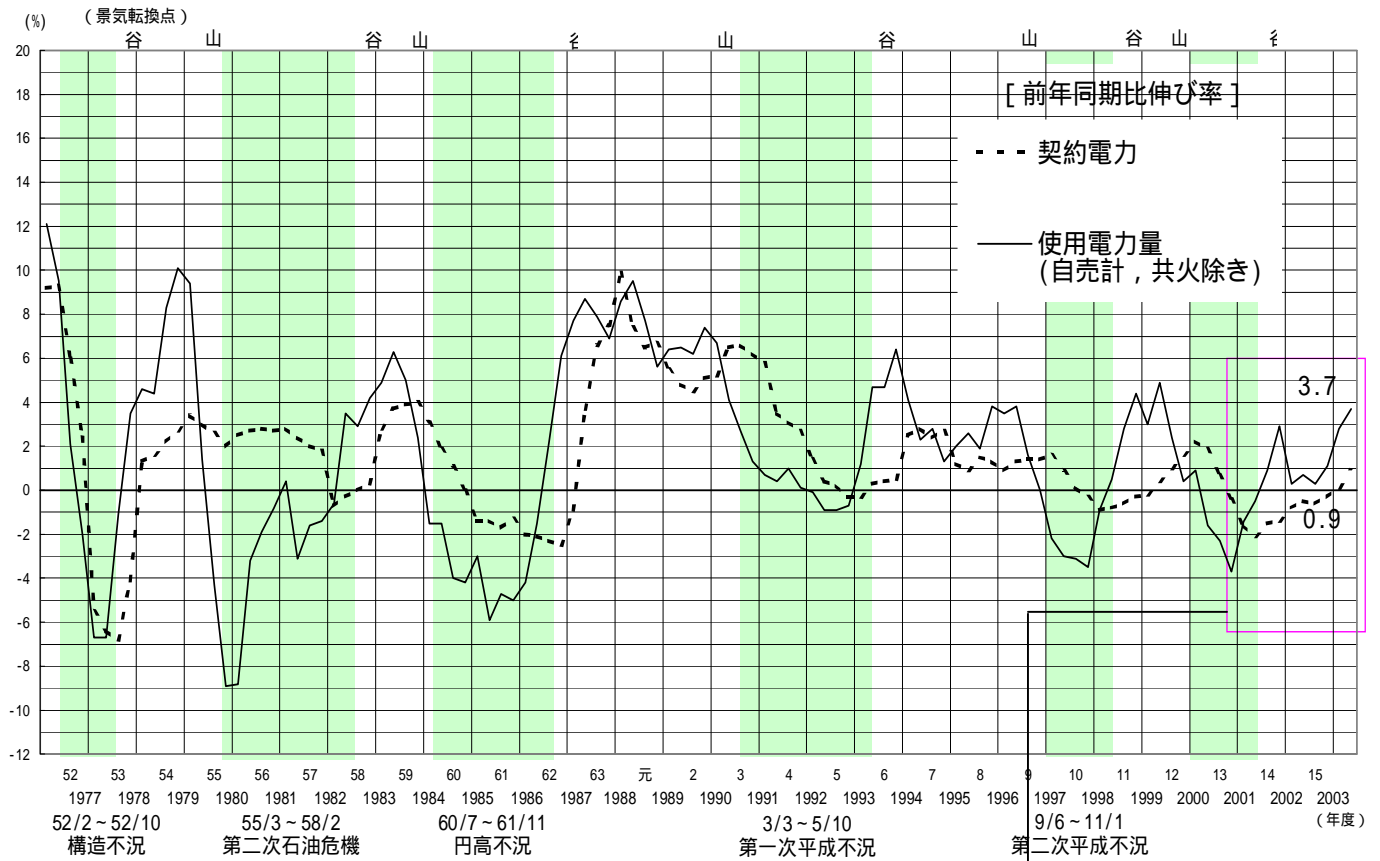
(注) 1. 電気事業連合会統計委員会の資料による。九州は確報値。 2. 個々の数値と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。 3. ()内は参考値。

大口電力の契約電力と使用電力量の推移（大口カーブ）

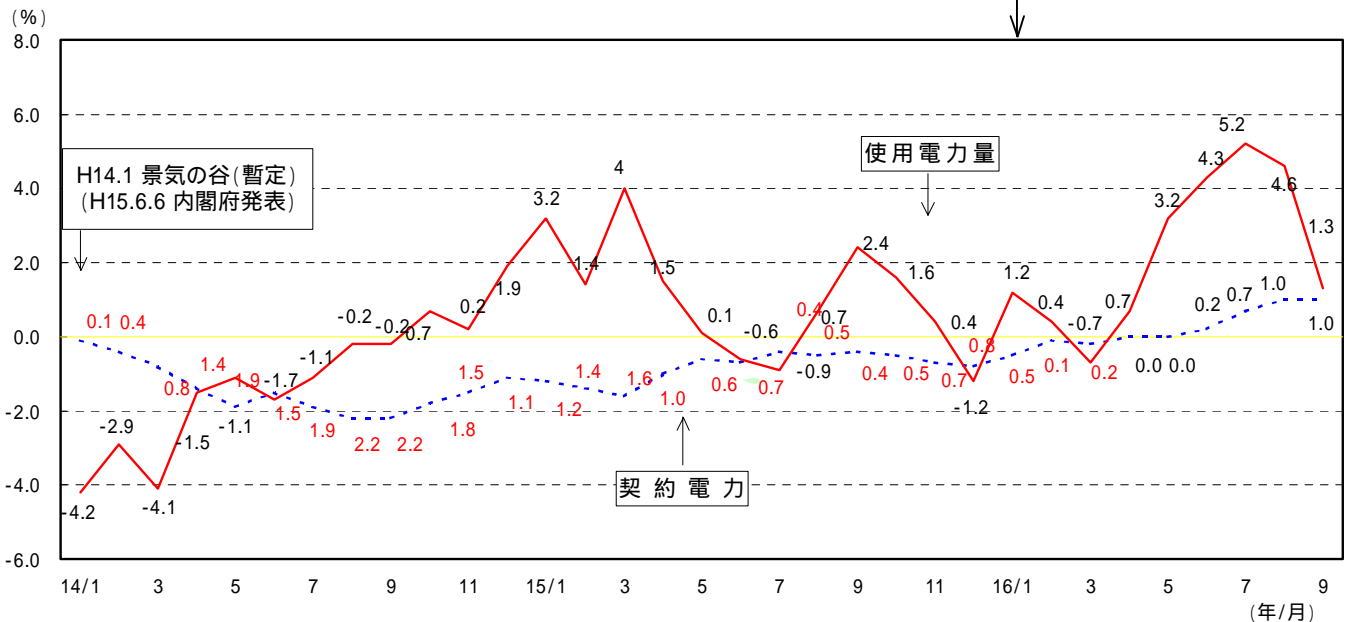
平成16年10月27日

九州電力株式会社

（1）四半期別動向



（2）月別動向



大口電力カーブは、景気判断の物差しの1つ

「使用電力量」は、契約電力500kW以上の産業用大口電力の販売電力量と、工場が独自に持っている自家発自家消費電力量を加えたもので、生産活動の活発さを反映している。

「契約電力」は、工場などの生産能力と、設備投資の動向を反映している。

経験則では、「使用電力量」の伸びが「契約電力」の伸びを上回るときは好況、逆の場合は不況である。2つのグラフが交差するときが、景気の転換点にほぼ一致している。

16年9月度は、使用電力量の伸びが契約電力の伸びを、6か月連続で上回った。

